

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 29 年度第 6 回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 地域活動支援事業について（公開）

・ 2 次募集における採択結果（報告）

#### (2) 町内会長協議会との情報交換会について（公開）

・ 実施計画（案）

#### (3) 研修について（公開）

・ 実施の検討

### 3 開催日時

平成 29 年 10 月 6 日（金）午後 6 時 30 分から午後 7 時 20 分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

1 人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：秋山 茂（会長）、有泉圭助、浦野憲一（副会長）、金井秀雄

金子八重子、高橋由美子（副会長）、田中正一、塚田みさ尾

船崎 聡、森 紀文、吉田文男、吉原ゆかり（欠席 2 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、田中主事

### 8 発言の内容

#### 【野口係長】

・ 会議の開会を宣言

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

【秋山会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認者：金井委員

議題「(1) 地域活動支援事業について」の「2次募集における採択結果」について事務局に報告を求める。

【野口係長】

- ・資料No.1により報告

【秋山会長】

今の報告に質疑を求める。

(発言なし)

ないようなので、以上で終了する。

次に「(2) 町内会長との情報交換会について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.2により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

ないようなので、アンケートの内容は、正副会長と事務局に一任いただくことよ  
いか。

(「よし」の声)

次に「(3) 研修について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.3-1、No.3-2により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

【船崎委員】

過去の視察について、直接的に役立ったものはなかったということは、行った意味  
がなかったということか。

【秋山会長】

得るものが全くなかったわけではないが、新道区で活用できるような、反映されるようなことはなかったということだ。

**【船崎委員】**

平成 27 年度などは、地域協議会とは関係ないような内容で、パッと見た感じだと単なる旅行のように思う。

**【有泉委員】**

平成 24 年度にも 27 年度にも、観光資源という言葉が出てくる。実際に観光資源を活かした地域活性化をするために、具体的に市の観光振興課に訴えるなど、研修にいった結果を、何かしら市に反映させる活動はしたのか。

**【秋山会長】**

直接的な市への活動の報告はなかった。

**【山田センター長】**

研修に対して、旅行と言い切ってしまうのも少し語弊があると思う。平成 27 年度の研修は春日区との合同研修であった。新道区と春日区で行った大きな理由としては、稲田商店街の空き家の問題と、春日区では商店街の活性化が足りないということであった。当時は上田市で空き店舗を利用した活性化の情報を得て、2 区合同で研修を行った。

地域協議会は実行部隊ではないので、視察の結果を行動に移して反映するのは難しいと思う。だが、協議会委員が情報を頭にいれるということは、今後の活動への研鑽に繋がるので決してマイナスにはなっていないと思う。

皆さんは、今後の研修のあり方としては、地域の課題に即した速効性のある研修を行うのであれば違うアプローチが必要だということを仰っているのだと思うが、前期の委員に関してはそういった課題や意識を持って研修に行ったのである。

**【船崎委員】**

行ったことを市などに提言しなければ、行った意味は全くないと思う。地域協議会として研修に行くのであれば、空き家であれば今後の対策等を提言していったほうがよいと思う。そうなれば、ある程度意味を持つのではないかと思う。

**【秋山会長】**

他にあるか。

(発言なし)

次に、資料No.3-2の宿題に対する皆さんの意向を伺いたい。

**【吉原委員】**

Aの研修型と言われてもよく分からなかったので、今までの地域活動支援事業の結果や実施状況を見るのがよいと思った。Bの聴講型については、会議での聞き方や上手に緊張しない話し方等を聞けたらよいと思う。

**【吉田委員】**

新道区内の地域活動支援活動の現地確認は、非常に参考になると思うので、是非、実施していただきたい。

**【森委員】**

今までの地域活動支援事業の現地確認や、「新道区のあゆみ」を基にした地域の歴史探訪もあってよいのかと思う。また、Bの聴講型では、今年の講習会を欠席したので、ランクアップさせた話の進め方やまとめ方を聞けたらよいと思う。

**【船崎委員】**

視察型と聴講型を併せて、新道区の歴史を考えて振り返っていくことをして、その後今までの地域活動支援事業が今はどうなっているかを見ることも大事だと思う。

**【塚田委員】**

視察型については、平成25年度の上越妙高駅の開業前を視察しているようなので、開業後の視察を挙げてみた。地域経済の活性化とまちづくりがどのように発展していくのかを知りたいと思う。

聴講型は、以前の新道地区のことを全く知らないなので、歴史講座を聞き、知りたいと思う。また、昨年度のファシリテーターの吉崎講師の講話は楽しかったので、上手に話すための講座もしていただけたらよいと思う。

**【田中委員】**

新道区の歴史については公民館講座で行っており、あと2年間、清水萬蔵先生を中心に行うので、委員の皆さんも参加していただければよいと思う。

また、空き家が増えてきているので、高田の大町や仲町で空き家を活用している事業をしているので、空き家を活用できないかと考えている。

諏訪、高土、有田地区も始めたようだが、高齢者サロンの実行組織も立ち上げなければいけないので、地域協議会委員も参加してサロンを見たいと思う。

また、他の地区の協議会の会長から来てもらい、他区の地域活動支援事業の採択の

やり方も勉強したらよいと思う。

**【金子委員】**

聴講型については、皆さんの意見のとおりでよいと思う。また視察については、高齢者サロンに行ってみたいと思う。

**【金井委員】**

地元をよく知るということで、どこに何があるかなどを知りたいと思う。聴講型は、スキルをどんどん高めるには、ランクアップした講習を継続的にやったほうがよいと思う。

**【有泉委員】**

広域で参考になる活動をしている団体を見つけて、見学と意見交換を行ったらどうか。また、遠い所で1泊できれば、協議会の親睦にもつながるのでよいと思う。聴講型は協議会委員のあるべき姿を見直すために、講師から話を聴きたいと思う。

**【高橋副会長】**

視察型については、今まで行ってきた事業の再確認をして、今後の採択に活かしていけたらよいと思う。聴講型は、スキルアップも継続的に行ったほうがよいと思う。

**【秋山会長】**

視察型については、過去の地域活動支援事業の検証をピックアップして見てみたいと思う。それにより、今後の審査・採択のためにも参考にしていきたい。聴講型についても、大きなお金を使って「新道区のあゆみ」を作成したので、それを活用して新道区の歴史を学ぶことも大切だと思う。聴講型は「新道区のあゆみ」を使った講話をしてもらえたらよいと思う。

**【浦野副会長】**

今まで採択された事業を見に行くということはよいと思う。どうしても県内等の施設を見に行くとなると、結果的に物見遊山な要素が多分に含まれるので、結果が出ずに研修が終わってしまうのではないかと思う。視察型は、ある程度結果を出さなければいけないと思う。

今回、とよば町内の公園とケヤキの木の提案があったが、不採択となったことで、会長に手紙が寄せられ、町内会長といろいろ話をした。我々と提案者との理解度が均衡でない気がした。提案者と協議会委員の見解を一緒にするために、視察箇所に入れる必要があると思った。

不採択となると、お互いに案件の事案を共有していないのではないかとということもあるので、課題を引き出して、地域協議会による提言をまとめるのも肝心ではないかと思う。

また、新道区以外でよい提案事業があれば、そういったところも参考に視察するのも1つの方策だと思う。

**【秋山会長】**

研修内容は、今ほどの皆さんの意見を最大限考慮して、正副会長に一任していただくことでよいか。

(「よし」の声)

それでは、研修について終了する。

その他、次回開催日について事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・視察あるいは通常地域協議会のいずれかを開催する旨の説明
- ・開催日：11月17日（金）に決定

**【秋山会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。